

本日も、熊本労災病院のホームページを訪れていただき、感謝申し上げます。

今年の夏は、オリンピックに始まり、異様な長雨など、例年とは異なる夏でした。コロナ禍は少しピークを越えた感がありますが、この第5波、これまでで最も多い感染者を生んでいます。ワクチンの効果も現れ、高齢者の患者数は押さえられています、重症者は依然多く、熊本県でも、熊本市内に多く存在する重症者用病床は、ほぼ満床が続き、当院にも、県の入院調整本部などを介して他医療圏からの搬送依頼がきています。地元八代医療圏でも感染者数は増加し、熊本総合病院が指定感染症医療機関として多くの患者さんを診療し、またホテル療養の方々のケアにもあたっておられますが、小児科や周産期を持つ当院も、重点医療機関として、上記の、圏域を超えた患者さんや、地元の小児や妊婦さんの入院が増加し、8月末から再び、ひとつの病棟全体をCOVID-19 用としています。少し前には、臨月の陽性患者さんが救急搬送され、未明に無事帝王切開で出産された例もありました。高齢化社会の中で、赤ちゃんは国の希望であり、先日あった千葉でのまるで終戦直後のような不幸な状況は、許されることではありません。以前から、当院のFacebook には、親御さんのご了解を得て、出生された赤ちゃんの表情とご家族のメッセージを載せてきました。幸せや暖かさのお裾分け、といったところです。熊本県では、周産期死亡率(妊娠22週以後の死産+出生後1週間以内の新生児死亡/出生数+妊娠22週以後の死産数)は、平成以降概ね全国平均を下回っています。現在は、熊本市内に熊本市民病院や大学病院という、高度な産科診療と大きな NICU(新生児集中治療ユニット)を持つ総合周産期医療センターが設置され、また、県内の主な産科・小児科医師がホットラインを持ち、緊急の周産期医療に対応できる体制が整えられています。当院を含め産科をもつ8つの県内基幹病院(熊本市内3, 市外5)がCOVID-19 陽性妊婦さんの診療に対応しており、妊婦さんたちは安心していただいよと思えます。もちろん、妊婦さんとそのご家族のみなさんは、ワクチン接種や、感染を防ぐ行動はお忘れ無く。当院の週末ワクチン接種は十分なワクチンがなく滞っていますが、9月8日からの予約開始で、10月2日(土)に再度行う予定ですので、HP でご確認ください。

良いことの少ないこの頃ですが、国民共通の希望の星は、大谷翔平選手の活躍でしょう。30年前の世界の中の日本のように、上り調子一本で、充実した楽しい毎日を送っているように思えます。最近、彼も属するアメリカの MLB が、アイオワ州で球場を作り、ヤンキースとホワイトソックスが公式試合をしたという小さいニュースがありました。アイオワ州は、中西部、シカゴのあるイリノイ州の西で、

アメリカを代表する「ド田舎」です。見渡す限りトウモロコシ畑が続き、道は、地平線までまっすぐ続きます。私は、40才頃、1年間、アイオワ大学に留学していました。フィールドオブドリームス、という、ケビンコスナー主演の1989年公開の映画があり、アイオワ州の北東部にあるダイアースビルという田舎町に、野球を題材にしたこの映画のロケ地があります。留学中、実は映画の詳細はよく知らないまま、数少ない名所だから行ってみようということで、地図を頼りに、住んでいたアイオワシティから100kmほどの田舎道を、春先の寒い日、家族を連れて車でそこへ往復しました。舗装もされていない道の先に、実際にトウモロコシ畑を切りひらいて作られた小さい球場があり、近くには、やはり映画で使われた白い瀟洒な家と、小さな土産物屋もありましたが、オフシーズンだからか閉まっていて寂しいところでした。気の利いた父親なら、息子相手にキャッチボールでもしたのでしょうか、道具もなく、グラウンドを踏んで、映画のシーンのようにトウモロコシ畑に出入りしてから、すぐ戻りました。今回はその「球場」のすぐ隣に、新たに作られた大きな球場での試合で、今後定期的に開催されるイベントになるようです。その映画に出てくる有名なフレーズに、”Is this Heaven?”, “No, it’s Iowa”, というのがあります。最終場面では、主人公が、亡くなっている若き日の父に会ってキャッチボールをするという、文字通り夢のようなお話ですが、改めて映画を見直し、留学時代の思い出の中でこの暖かいフレーズを聴くことができました。少し、亡くなった父のことも思い出しました。大谷選手が、暗い現実から、この映画と Iowa に再度連れて行ってくれた気がします。

現実のお話ですが、正面玄関ホールの床を張り直しています。これまで張り材の境目が盛り上がって段差ができていたりしていましたし、何より暗い感じでした。コロナ関連で日本財団の補助金をいただくことができ張りかえが実現しました。9月中旬には、ベージュ色を基本にした明るい色になります。玄関前花壇でも、ロータリークラブで植えていただいたマリーゴールドがきれいです。リハビリ棟の雨漏りには、今防水工事を行っています。「何かいいことないかな?」、という日々が続きますが、患者様や職員に少しでも明るい気分になっていただけることを期待しています。